

平成25年度 部局長マネジメント方針

こうだ ひろ ひこ
経営企画部長 甲田 博彦



仕事に対する基本姿勢

経営企画部は、市の重要施策にかかる企画・立案や市有財産の有効活用に関する企画、行財政改革など持続可能なまちづくりを計画的・総合的に推進していく部です。

近年、わが国では少子化、高齢化の進行が著しく、いわゆる人口減少社会の到来がまちづくりに大きな影響を与えることが予想されます。本市では、高度経済成長期や三市合併時に多くの公共施設を整備しており、老朽化が進む施設について改修や建替えなどにより安全性や機能を確保するとともに、社会情勢の変化を踏まえた総量縮減や民間活力の活用について検討を進めていきたいと考えています。

今まさに全国の自治体が大きな転換点に立ち、本市にあっては、引き続き行財政改革をしっかりと進め、将来にわたり活力溢れる都市として持続的な発展を続けるための基盤強化を行っていく必要があります。

経営企画部は、所属職員は少数の部ですが、明日の東大阪市を大きく、力強く動かすパワーを秘め、将来を見据えた新たな一步を踏み出す勇気をもって仕事に取り組んでいかなければならないと思っております。小さな組織が持つメリットを活かし、職員相互の信頼感の醸成と情報の共有化を図り、一層のスピード感をもって取り組んでまいります。また、活力ある東大阪市の未来をつくっていくための課題や問題意識を全庁で共有しながら、各部局としっかり連携し、効率的・効果的な施策展開を図っていく必要があると考えています。

以上のことを経営企画部全職員がしっかりと心に留め、平成25年度、下記の項目を重点課題として取り組んでまいります。

平成25年度に取り組む重点課題

1 後期基本計画の推進と持続可能なまちづくり

- ・平成25年度は後期基本計画第2次実施計画の初年度に当たり、PDCAサイクル手法による進行管理を行い、その着実な推進を図ってまいります。また、将来にわたり

活力ある東大阪市を持続していくため、その課題や問題意識を全庁で共有しながら、取り組んでまいります。

2 公共施設マネジメントの推進

- ・今後の人口減少や少子高齢化時代の到来を見据え、最適な公共施設の質・量を検討し、公共施設を活用した市民サービスを将来に渡って安全・安心に提供していくため策定する「公共施設マネジメント推進基本方針」と、老朽化や耐震性に課題のある一部の公共施設を中心に改修・改築・複合化を行っていくため策定する「公共施設再編整備計画」について推進してまいります。

3 行財政改革のより一層の推進

- ・本市の一般行政職の職員数（人口当たり）は、全国の中核市のなかで最も少ない状況にありますが、引き続き事務事業の見直しや民間活力の活用を推進しながら、職員数の適正管理に努めてまいります。
- ・外郭団体が管理する公共施設のうち、今後、民間企業も含めた公募により指定管理者を選定する対象施設の拡大に向けたロードマップをお示ししますとともに、新たな指定管理者制度の活用に向けた取組を進めてまいります。
- ・外郭団体について、土地開発公社の解散や東大阪市駐車場整備株式会社と東大阪再開発株式会社の合併を平成25年度中に行ってまいります。

4 モノレール南伸の促進

- ・平成25年度大阪府において検討調査費が計上された大阪モノレール南伸は、本市のまちづくりにとっても重要な意味を持つ広域公共交通のインフラ整備であり、事業着手に向け府に対し強く働きかけますとともに、市としてもプロジェクトチームにおいて南伸の促進に向け引き続き取り組んでまいります。

5 東大阪市の魅力アピール

- ・本市には、自然、歴史、文化、産業、ラグビー、市内大学など、市民の郷土愛を育む

とともに、広く内外に誇ることのできる地域資源が数多くあります。また、新たな魅力として平成20年度から東大阪カレーパン事業がスタートしています。関係部局と連携し、東大阪市の魅力を広く市内外に発信してまいります。